

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2009 年 5 月 3 日現在

概況 ワシントン州東部の 5 月 3 日に終る 1 週間の気象は、降雨を伴う低い気温の気象であった。降雨は各地に観られ、小麦に取り有効であったが、順調な生育の為に気温の上昇が望まれた。E.Cent地区の平均気温は平年を 3～5 度F下回り、最高気温は 62～68 度Fとこの季節としては低い気温であった。SE地区に於いても同様気温は平年より低く、小麦の生育を遅らせる結果となった。E.Cent地区の 1 週間の降水量は 0.25～0.55 インチ、SE地区の降水量は 0.99～1.17 インチであった。Whitman郡の 4 月の降水量は平年を上回ったと報告された。SE地区の土壤水分は良好な状態であったが、E.Cent地区の圃場は乾燥しており、更に降雨を必要としていた。1 週間の州平均農作業稼働日数は 5.7 日（前週：6.1 日）であった。Topsoil及びSubsoil共に土壤水分は 5 年平均より低い状態が続いた。春小麦の播種は全州の 78%の圃場にて完了し、46%にて出芽した。播種並びに出芽は昨年より多少早い進捗であったが、5 年平均よりは遅れていた。冬小麦並びに春小麦の作柄は前週より多少評価が上がった。

土壤水分及び灌漑用状況(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	3	12	69	16
	5-Yr Ave.	2	15	74	6
Subsoil	This week	8	25	64	3
	5-Yr Ave.	7	23	68	2
Irrigation	This week	0	2	93	5
	5-Yr Ave.	3	4	91	2

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	7	11	26	47	9
Last week	6	13	34	39	8

春小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Planted	78	64	72	88
Emerged	46	20	43	61

春小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	0	65	33	2
Last week	0	1	66	33	0

(*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, National Agricultural Statistic Service, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2004,2005,2006,2007 and 2008 Crop year.